

友だちができたよ



明戸小学校3年 飯嶋 咲良

わたしは、ようち園の時、な... 「やだやだ、行きたくない。」

「おままごが いい。」... 「入れてあげてね。」

夢 ながるべからず

齋藤 清 さん

卓球の道を究める



通算100勝

地よい一定のリズムを刻... 個人レベル、癖に合わせて

打ち出される1球は、受けた者... 日本卓球界の雄 齋藤清。

Letter

ありがとうの手紙



最優秀賞・小学校低学年の部

お母さんへ

上柴東小学校2年 藤枝 優花 さん

わたしは、1年生の時からお母さんと交かん日記... ありがとうございます。



最優秀賞・一般の部

拳骨痛かったです。親方へ

境 奥田 豊 さん

親方。覚えていませんか。あの時急に「豊、この壁を塗って... ありがとうございます。

「手紙でつむぐ」の『ありがとう』の思い「作品集」

平成20年6月〜9月に、「ありがとう」の言葉や思いや行動が... ありがとうございます。

問い合わせ 学校教育課 (0572-901078)



努力の果てに

山 形に生まれた齋藤は活発な少年時代を送った。大自然の中を友達と走り回り、特に冬は朝から晩までスキーに明け暮れた。

卓球を本格的に始めたのは、スキー仲間の先輩に誘われて入った中学校の部活。競技としての卓球は初めて。もちろん、経験者には勝てなかった。しかし、練習を重ねる



アドバイスを球に込めて打ち出す

ごとに上達していく自分。気が付けば卓球に夢中になっていった。そして、日々の努力は、中学3年で全国中学校卓球大会で優勝という実を結んだ。齋藤はさらなる高みを目指し、全国屈指の名将・吉田安夫監督が率いる熊谷商業高校への進学を決意し、故郷を離れた。

新たな想い

名将の下、積み重ねた努力は、その後の全日本制覇やソウルオリンピック出場への礎となった。日本の頂点を極めて、齋藤に慢心はなかった。貪欲なまでに強さを追い求め、プレーの質にこだわった。

全 日本通算100勝を達成した今、これからの自分と卓球との付き合い方を考える。その先に見えたものは「卓球の楽しさをみんなに伝える自分の姿」だった。

卓球に夢中になった中学時代のあの気持ちを、一人でも多くの人に感じてもらいたいと齋藤は語る。齋藤が卓球と歩む道は、まだまだ終わらない。

夢七訓

- 夢なき者は理想なし
理想なき者は信念なし
信念なき者は計画なし
計画なき者は実行なし
実行なき者は成果なし
成果なき者は幸福なし
ゆえに 幸福を求める者は夢なかるべからず